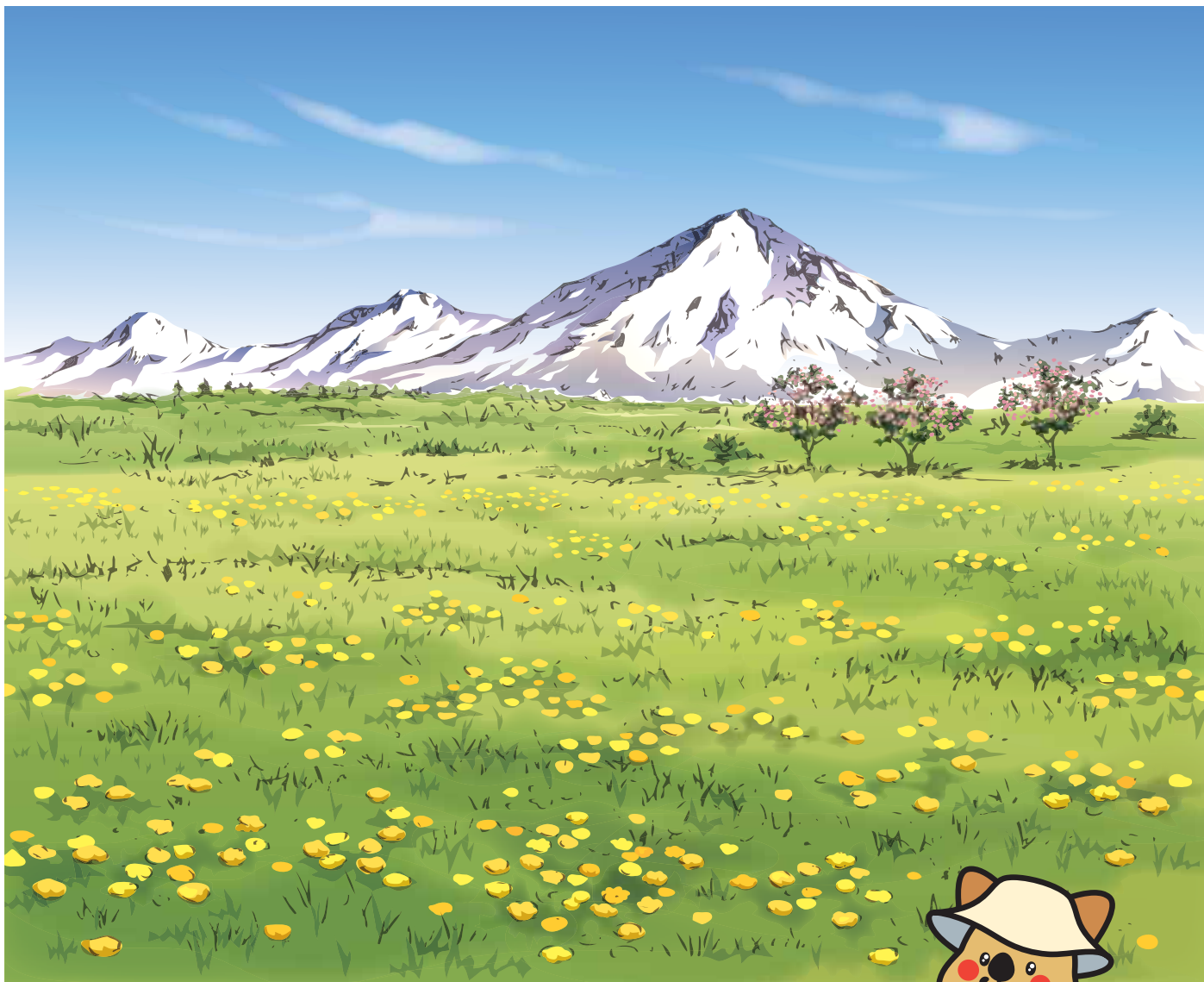


つなげる力を、明日のために。トークネットのコミュニケーションマガジン「ジョイント」

Joint

vol. 30
2020 Mar.



八甲田山(青森県)

未来への挑戦[特集インタビュー]

「音楽の力でつながる」

仙台フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター 西本幸弘氏

技をつなぐ 高橋工房様

導入事例 [新たな価値をつくるビジネス] 気仙沼市様

地域ナビ [新潟編]



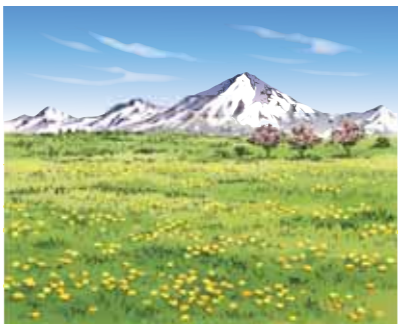


(右)高橋工房様の「手描き鯉のぼり」。
(左)気仙沼市「徳仙丈山」のつつじと、まちの観光キャラクター「海の子 ホヤぼーや」。

Joint

CONTENTS vol.30 2020 Mar.

[表紙のイラスト]
「八甲田山」は、青森市の南側にそびえる那須火山帯に属す八甲田火山群の総称で、標高1,585mの大岳を主峰とする10の山々を北八甲田、櫛ヶ峰をはじめとする6峰の山々を南八甲田といいます。山頂付近には6月上旬まで雪が残り、八甲田山の春は残雪と新緑の景色を同時に楽しめます。「JoinT」バックナンバーはHPでご覧いただけます。
<https://www.tohknet.co.jp/joint/>



14

総合音声通信サービス「TOHKtalk」
読者プレゼント

13

地域の旬情報 Joint's TOPICS
台風19号からの復旧・復興を推進中！
ゴールデンウィークは丸森町で春の歳時記を楽しもう

11

導入事例「新たな価値をつくるビジネス」
RPOとセキュリティ対策を強化した
情報システム基盤を構築
気仙沼市様

09

地域ナビ
知りたい、伝えたい！地元の魅力
新潟編

07

技をつなぐ
孫や子の成長を願う想いを表現
親子でつなぐ伝統の手仕事
高橋工房様

03

未来への挑戦「特集インタビュー」
「音楽の力でつながる」
奏者と観客の一体感が魅力
音楽でコミュニケーション
仙台フィルハーモニー管弦楽団
コンサートマスター 西本幸弘氏



奏者と観客の一体感が魅力 音楽でコミュニケーション

2012年より、仙台フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターとして活躍する西本幸弘さん。楽団の演奏会のほか、自身のリサイタルツアーやボランティアなどのアウトリーチ活動を精力的に行っています。ヴァイオリンを始めたきっかけ、コンサートマスターとしての役割、仙台フィルの魅力、音楽への想いなどについて伺いました。

「音楽の力でつながる」

仙台フィルハーモニー管弦楽団
コンサートマスター 西本 幸弘氏
(にしもと ゆきひろ)



仙台フィルハーモニー管弦楽団の演奏会



【プロフィール】

札幌市出身。6歳よりヴァイオリンを始める。東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。その後、英国王立北音楽院で首席栄誉付ディプロマ取得。同音楽院よりバルビローリ賞をはじめ、多くの褒賞を受賞。英国を拠点に活動し、海外オーケストラとの共演や、ザルツブルクをはじめ世界各地の音楽祭で演奏、著名な演奏家との共演も数多い。2010年に帰国。2012年に仙台フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター、2018年に九州交響楽団コンサートマスターに就任。現在、仙台国際音楽コンクール企画推進委員会委員、ふもとのこどもオーケストラ音楽監督、Mt.FUJI交響楽団ミュージックアドバイザーも務める。令和元年度宮城県芸術選奨新人賞受賞（音楽部門）。

顔を見て、音を聴く コンサートマスター

「6歳の時、オーケストラを紹介したテレビ番組を見て、コンサートマスターの所作や、チューニング（音合わせ）をしている姿がとても格好良いなと思ったんです。その時のコンマスがヴァイオリニスト。憧れてしまいました。それで小学1年生の作文で、将来の夢はコンサートマスターと書いていました。大学受験は一度失敗しましたが、大学浪人時代のホテルマンのアルバイトは、人とのコミュニケーションに役に立っています。札幌の大通公園で路上ライブをしたこともありましたが、いろいろな経験は、自分にとって必要なことだったと思います」

子どもの頃の夢を叶えた西本幸弘さんは現在、仙台フィルハーモニー管弦楽団と九州交響楽団、両楽団のコンサートマスターを務めています。オーケストラの演奏を取りまとめる役割を担うコンサートマスターは、第2の指揮者とも呼ばれます。西本さん自身は、その役割をどのように捉えているのでしょうか。

「コンマスの席は、客席から見、指揮者の左隣りです。この席で、オーケストラが良い演奏をして、お客さまも楽しめる空気感を作り出せるように心掛けています。その一つが、チューニングの際にメンバー全員の顔を見ることがです。表情からその日の調子を読み取れることもあるので、リハーサルでも本番でも必ずしています。それによって演奏の方向性が決まったり、ひらめいたりします」

「オーケストラの無言のコミュニケーションによって奏でられた音楽が、聴く側であるお客さまとつながっていくようです。一体感を味わえる演奏を心掛ける」

ゲストコンサートマスターとして仙台フィルに参加した後、2012年に正式に就任した西本さん。当時27歳で、最年少のコンサートマスターでした。

「夢が叶った喜びと不安が混在し、とても印象に残っています。仙台フィルは、それぞれの個性が活きているオーケストラで、緊張感のある時の研ぎ澄まされた音がすごく魅力的な楽団です。音にもスピード感があります。また、九州交響楽団は、先輩方が卒業して若いメンバーが多いオーケストラです。コン

オーケストラが良い演奏をして、
お客さまも楽しめる空気感を作り出せるように。



①現在愛用のヴァイオリンは2台。「楽器は人間の人生より長いので、使っている間は一時期お預かりしている感覚で大事にします」と西本さん。



②ヴァイオリンの渦巻き（スクロール）は、製作家の個性が現れる部分。
③コレクターの方から譲り受け、イタリアから取り寄せた1台。

インタビューから考える
つなぐ思い



TOHKnet 営業部 佐藤 祐希

Rebornの精神と
コミュニケーション力

お話を伺い、西本さんは物事を前向きに捉えていろいろな挑戦されている方だと思いました。「Reborn」の精神で、辛いことがあっても翌日には気持ちを切り替えるという言葉が印象的でした。

音楽一家ではないけれど、ヴァイオリンに興味を持ち、コンサートマスターになるという夢を実現されたのは凄いことです。

また、アルバイトやスポーツもいろいろ経験し、それらがコミュニケーション力を培い、音楽活動に活かされているのだと感じました。

オーケストラの演奏前に必ずメンバーの顔を見るというお話は、営業の仕事にも通じるころがあります。実際に話している内容だけでなく、お客さまの表情、声の大きさやトーン、その時の雰囲気などから、求めていることを感じ取れることがあると思いますので、仕事をしていく中で意識して心掛けたいです。



④エフエム仙台のラジオ番組『TOHKnet Sound Pizz.』（毎週日曜18時30分～18時55分）収録の様子。（2020年1月12日時点で118回）



⑤「音楽で喜怒哀楽を表現する」ワークショップを高校の合唱部で行いました。



⑥名取市の小学校でのアウトリーチ活動の様子。



①「学生時代はサッカーや野球など、いろいろなスポーツをしました。指の骨を折っても気にしないようなポジティブ精神は、その時に生まれたのかもしれない」と西本さん。
②ヴァイオリンリサイタルシリーズ「VIOLINable」5年目を記念する仙台でのステージの様子（2019年）。
③ヴァイオリンリサイタルシリーズ「VIOLINable」の福岡公演の様子（2019年）。

楽譜は料理のレシピのようなもの。

コンサートマスターとしての立ち位置は、円滑に進むようにリードする役割ですね」
地域性の違う二つの楽団を兼任するコンサートマスターとして活躍する西本さん。料理が趣味で、音楽と料理は似ているといます。
「歴史や伝統などその地域に根差した料理があって、それを誰もが作れるように残したものがレシピだと思うのです。音楽で言えば、楽譜はレシピみたいなもので、作曲家の想像力の中から生まれたものを楽譜として残し、音楽家が作曲家の意図を汲み取り、どう演奏するかというのが音楽です。だから演奏する人によって印象が違うわけです。料理もレシピが同じでも作る人によって味が違いますよね」
コンサートでは、楽譜通り演奏するだけでなく、その時の会場やお客さまの雰囲気、奏者の調子を感じながら、弾き方の強弱など、少しずつ加減を調整しているそうです。

子どもたちに

音楽の楽しさを伝える活動

2010年に英国から帰国し、活動の拠点を日本に移した西本さんは、音楽の可能性を

ショップを行っています

仙台と九州でジュニアオーケストラの指導もしている西本さん。子どもたちの「何かを発見できる心」を育てていければという想いから活動を続けています。さまざまな音楽活動で人や地域がつながる

西本さんはオーケストラの活動のほかに、ラジオ番組のパーソナリティなども務めています。2017年から続くエフエム仙台のラジオ番組「TOHKnet Sound Pizz.」は、「高校時代に組んでいたバンドで演奏した曲など、クラシック以外にさまざまなジャンルの曲を楽しめ、

追求するコンサートプロジェクトを始動させました。教育機関や各種施設での訪問ボランティア演奏、復興支援など、アウトリーチの活動に精力的に取り組んでいます。

「学校や施設などを訪問するアウトリーチの活動は音楽家ヴァイオリニストとしての大きな軸の一つです。仙台フィルに入って、被災地のオーケストラのコンサートマスターとして何ができるかを考えた時、やっぱり音楽でお役に立ちたいと思いました」

帰国後、出身地の札幌、ヴァイオリンを始めた御殿場、現在の活動拠点の一つである仙台と自身のゆかりの3都市で開催するツアー「リサイタルシリーズ」と同時に、子どもたちと過ごす音楽のワークショップを年に数回開いています。

「子どもたちの前で演奏して、その曲からイメージする絵を画用紙に書いてもらおうというワークショップでは、子どもたちの絵から影響を受けて演奏が変わったりすることもあります。また、中学校や高校の吹奏楽部、合唱部の生徒たちには、音で感情を表現したり、コンサートの聴き方などについてのワーク

自分にとっても幸せな時間です。東北や宮城県以外の方も聴いてくださっていて、番組の中で音楽を通していろいろな方とつながることができる、自分の理想に近い番組です」と話しています。番組は、リスナーの質問などに答えるコーナーもあり、ヴァイオリニスト、コンサートマスターとしての経験や視点から届けられる音楽やメッセージが、オーケストラに興味を持ち、コンサートに足を運ぶきっかけにもなっているようです。
西本さんは、生の演奏会でもラジオ番組でも発信と受信をしながら、常にポジティブに変化を楽しんでいます。



孫や子の成長を願う想いを表現 親子でつなぐ伝統の手仕事

いわき絵のぼり・手描き鯉のぼり・いわきだるま
高橋工房 福島県いわき市

いわき絵のぼりの原点ともいえる「八幡太郎義家・如來の旗」。子どもが才能を伸ばせるようにとの願いが込められています。

**勇壮な絵に込められた
健やかな成長への願い**

5月5日のこどもの日に鯉のぼりを飾る光景を目にしますが、福島県いわき市一帯では武者などを描いた絵のぼりを飾る風習が残っています。

起源は戦国時代、武士が戦場で敵・味方を識別するために用いたのぼり旗に由来します。室町時代

末期になると、武家では5月頃に虫干しを兼ねて、兜を屋内に飾り、庭先のにぼりを立てるようになります。江戸時代には、この風習が武士から庶民にも広まり、子どもの健康や成長を願い、端午の節句に祝い事として飾るようになりました。

いわきでは、磐城平藩の三代藩主・内藤義概が奨励し、絵のぼりが盛んに作られるようになりました。かつては家々が競うように掲げたそうです。

いわき絵のぼりの伝統を受け継ぎ、手仕事で製作を続けているのが高橋工房です。初代の高橋興平氏が大正時代に創業し、絵のぼりやだるまの製作を開始。二代目の晃平氏とともに絵柄の改良に取り組み、独自ののぼりを完成しました。現在は、三代目の謙一郎さんが技術を継承し、息子の聡一郎さんとともに製作に励んでいます。

**いわきの風習を守り
未来につなぐ**

絵のぼりの大きさは縦約4.5m、横約70cm。木綿の布が使われます。最初に木綿地を裁断し、1時間ほどお湯で煮て糊付けし、天日干しします。次に、絵柄が描かれた手本の上に木綿地を敷き、薄墨でなぞり下絵を描いた後、下絵にそって刷毛で色を塗る下染めを行います。その後、輪郭や毛髪、目などに墨を入れて絵を仕上げ、のぼりの上部に家紋を描き、乳と呼ばれるさお通しを縫い付けて完成します。

絵柄は、中国に伝わる神で厄除けなどに効のある鍾馗、源平の合戦、戦国時代の英雄や故事にちなんだ名場面を題材に約10種類。1本仕上げるのに1週間ほどかかるそうです。

「黄色の上におレンジ、赤色と、薄い色から徐々に濃い色を塗り重ねるのがうちの特徴」と謙一郎さん。「奥行きが出て絵に立体感が生まれます」。

息子の聡一郎さんは、15年前に後継ぎを決心。今は下染めを担当しています。「工房で手掛けたのぼりは、遠くから見てもわかります。のぼりが飾られているのを見るとうれしくなります。お客さまに喜んでもらえるのが一番です」と

やりがいを感じています。

「創業から100年近くになりますが、これからも伝統を守っていきたい」と親子で話します。受け継がれてきた技を継承し、子どもたちを想う気持ちも未来へつなぐ。この地域ならではの光景が守られていきます。

三代目の高橋謙一郎さん、四代目の聡一郎さん、三代目の高橋・淳子さん（左から）。高橋工房の製作技術は、いわき市無形文化財に指定されています。



息入れを行う謙一郎さん。刷毛は、色ごとに太さの違うものが数本あり、使い分けています。



息入れは、間違いないように最も神経を使います。



【金太郎・鯉の滝登り】



厄除けの神、受験の神として人気が高い「鍾馗」。墨絵と色付きがあります。写真は五代・晃平氏の作。



【義経弓流し】



【川中島の合戦】



高橋工房では、手描き鯉のぼりやいわきだるまも制作しています。いずれも手作りのため、同じものは一つとしてありません。



家内用ののぼり。床の間に飾るご奉納も多いそうです。



高橋工房
〒970-8053 福島県いわき市平正月町1-7
TEL&FAX.0246-23-4077
<http://takahashikoubou.jp>





下越エリアの旬なスポット、話題のグルメを紹介!

TOHKnet 新潟支社
小澤 左京

2016年入社。2019年から新潟支社勤務。
下越、上越のお客さまを担当。

弥彦村と長岡市をまたぐ「弥彦山」は、勾配が緩やかで登りやすく整備されているので、登山初心者におすすです。山麓から山の9合目までの全長1000メートルを約5分で結ぶ「弥彦山ロープウェイ」を使えば、山頂まで簡単に登ることが出来ます。山頂から越後平野と日本海が広がり、雄大な景色を楽しめます。

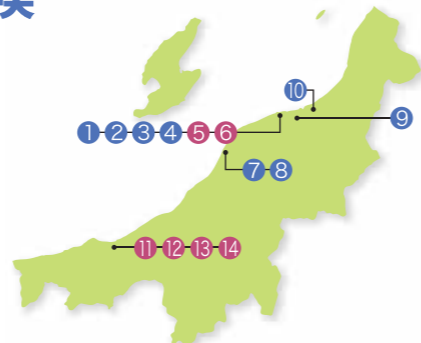
手掛ける「北弁」の「さくらとう元祖コーストビーフ弁当」は、全国のスーパーマーケットや専門店の優れた商品を表彰する「お弁当・お惣菜大賞2020」

で最優秀賞に輝いた一品。新発田市役所の売店で販売しており、税込500円という手頃な価格で本格的な味を楽しめます。



雄大な自然と絶品弁当で春の行楽を満喫

地元のコトは地元の人に聞くのがイチバン!
東北・新潟の魅力を社員の目線でお届けします。
今回ナビゲートするのは
新潟支社の橋井達也と小澤左京。
おすすの地元ネタとは?



- 7 絶景を望む「弥彦山ロープウェイ」。
 - 8 「おやひこさま」と呼ばれ親しまれる「彌彦神社」。
 - 9 「瓢湖水きん公園」の白鳥。
 - 10 「北弁」の「さくらとう元祖コーストビーフ弁当」。
- 「弥彦山ロープウェイ」 TEL.0256-94-4141
(弥彦観光索道株式会社)
西蒲原郡弥彦村弥彦 2898
- 「彌彦神社」 TEL.0256-94-2001
西蒲原郡弥彦村弥彦 2887-2
宝仏殿は 9:00~16:00
- 「瓢湖水きん公園」 TEL.0250-62-2690
(阿賀野市産業建設部 公園管理事務所)
阿賀野市水原 314-14
- 「北弁」 TEL.0254-26-5840
新発田市新栄町 1-4-6
8:00~17:30(土・日曜は 8:00~12:00)

vol.30 新潟編

知りたい、伝えたい! 地元の魅力

「地域ナビ」

新潟市の海岸エリアにある「新潟市水族館マリニピア日本海」は、約600種3万点の水生生物が展示された日本海側有数の水族館。マイワシの魚群やホシエイなどが泳ぐ日本海大水槽は迫力満点です。大水槽の底を通るマリントンネルからは、頭上に泳ぐ魚を見られます。人気のイルカショーやアクアラボ体験など、子どもから大人まで楽しめるプログラムが豊富です。

TOHKnet 新潟支社
橋井 達也

2014年入社。2018年から新潟支社勤務。
工事に伴う申請関係を担当。



新潟市の観光名所や名物丼を楽しむ

りとしたタレが人気です。
新潟市北区には、人気米菓「ばかうけ」を製造する栗山米菓直営の観光スポット「新潟せんべい王国」があります。こ

こでは職人さんがせんべいを作る様子を見学したり、手焼き体験を楽しめるほか、さまざまな地域の限定品が手に入ります。



- 1 イルカの生態を楽しく学べるイルカショー。
 - 2 「新潟市水族館マリニピア日本海」のマリントンネル。
 - 3 「とんかつ太郎」の「かつ丼」。
 - 4 「新潟せんべい王国」限定のばかうけ各種。
- 「新潟市水族館マリニピア日本海」
TEL.025-222-7500
新潟市中央区西船見町 5932-445
9:00~17:00(券売は 16:30まで)
※12月29日~1月1日、3月第1木曜とその翌日
- 「とんかつ太郎」
TEL.025-222-0097
新潟市中央区古町通6番町 973
11:30~14:30、17:00~20:00(材料がなくなり次第閉店)
※木曜、第3水曜定休
- 「新潟せんべい王国」
TEL : 025-259-0161
新潟市北区新崎 2661
9:30~17:00(体験受付は 16:30まで)※不定休

こちらもおすす ★上越地方の花の名所

花の季節は上越地方もおすす。上越市の中心部にある「高田城址公園」は、徳川家康の六男・松平忠輝公が築城した高田城の跡に整備された公園です。園内には歴史博物館や陸上競技場、ブロンズブロンナードなどがあり、市民の憩いの場になっています。春は約4000本の桜が咲き誇り、新潟県屈指のお花見スポットとして親しまれます。満開の桜が頭上を覆い、まるでトンネルのように見える「さくらロード」は見ごたえがあり

ます。夜は園内がライトアップされ、「日本三大夜桜」の一つに数えられる幻想的な景色を楽しむことができます。暗闇の中に照らし出された三重櫓と桜並木が、堀の水面に映し出される光景は圧巻です。桜と並び有名なのが、夏に見ごろを迎えるハス。お堀一面を覆い尽くす鮮やかな緑の葉と淡いピンク色の花が織りなすコントラストが美しく、訪れる人を魅了します。

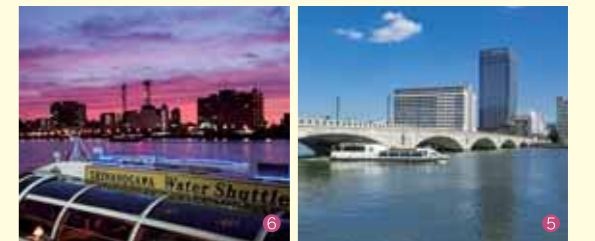


- 11 高田城址公園内の「上越市立歴史博物館」。
- 12 「さくらロード」の桜のトンネル。
- 13 ライトアップされた三重櫓と桜並木。
- 14 美しく咲き乱れるハスの花。

こちらもおすす ★信濃川ウォーターシャトルで水上散歩

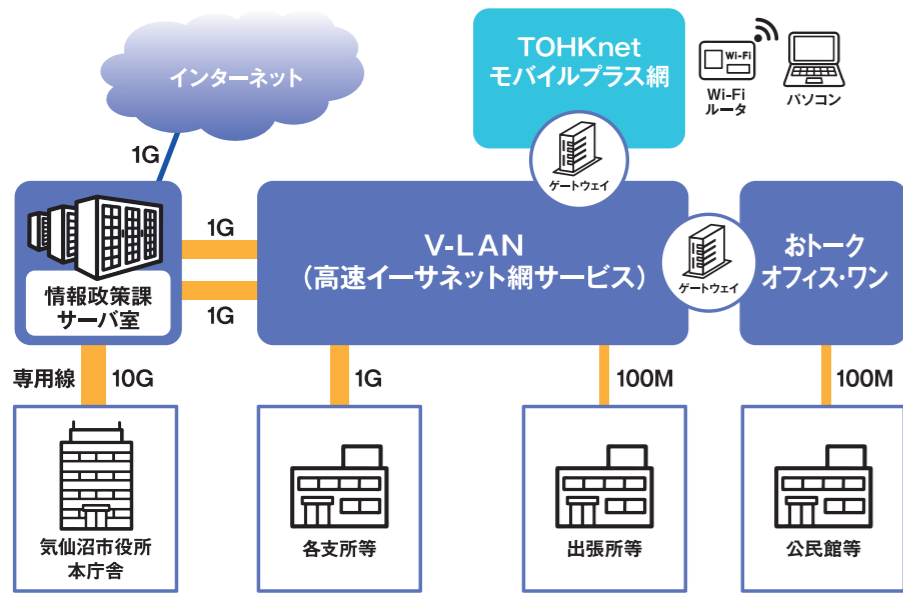
新潟市ならではの楽しみの一つに水上からの観光スポットめぐりがあります。信濃川を周遊する観光遊覧船「信濃川ウォーターシャトル」は、新潟市のまち並みを水上から眺められます。新潟市歴史博物館(みなとびあ)から朱鷺メッセや万代シティなどを經由し、新潟ふるさと村までを往復シャトル運航。途中で新潟市のシンボル・萬代橋をめぐり、普段は見られないアーチの中を眺められます。

夕日が沈む時間は、朱鷺メッセ発着のサンセットクルーズが運航。見晴らしのいい展望デッキや後部デッキからは、水面に映る新潟市街の夜景を満喫できます。夏の花火観覧クルーズや冬のクリスマスディナークルーズなど、季節限定のクルーズも人気です。春は満開の桜と季節の食材を生かした弁当を楽しめるお花見クルーズがおすすです。



- 5 信濃川ウォーターシャトルの就航船「アナスタシア号」。
 - 6 夜景を楽しめるサンセットクルーズ。
- 「信濃川ウォーターシャトル」
TEL.025-227-5200
<http://www.watershuttle.co.jp/>

広域イーサネットサービス「V-LAN」「おトークオフィス・ワン」と高速イーサネット専用サービス



「当時、拠点数は約100箇所あり、拠点間の回線提供を行う通信会社を決める際に重視したのは費用面です。使用する回線の予想を立てて10年間の比較を行い、特にランニングコストがどれくらい抑えられるかを試算しました。コスト面を重視して検討した結果、トークネットに決まりました。」



情報政策課サーバ室。

回線を見直し、コスト削減とセキュリティ強化

「当時、拠点数は約100箇所あり、拠点間の回線提供を行う通信会社を決める際に重視したのは費用面です。使用する回線の予想を立てて10年間の比較を行い、特にランニングコストがどれくらい抑えられるかを試算しました。コスト面を重視して検討した結果、トークネットに決まりました。」

お客さまにご満足いただけるサービスをご提案します

当社は宮城県のLGWAN(総合行政ネットワーク)の回線を担当しており、2016年に気仙沼市様のシステム構築についても提案する機会をいただきました。近年多い自然災害に備え、自治体様にはBCP対応や、万が一の際の情報共有や市民への発信機能の強化が求められています。気仙沼市様は当時、すべてのパソコンがインターネットに接続され、閉域ネットワークのLGWAN接続系のパソコンは1台のみでした。現状のインターネット環境はそのまま、業務を継続できるようにという要望にお応えしつつ、災害、セキュリティ、コスト面の対策を強化したシステムを構築しました。

気仙沼市様は、2021年9月のサーバのリース期間終了にあわせ、データセンターなどクラウドサービスの利用も視野に入れているとのことですので、その都度ニーズに合ったご提案をしていきたいと考えています。

担当者/TOHKnet 営業部 **高橋 祐紀**

*文中に記載の組織名・所属・役職・サービス名などはすべて2020年1月時点のものです。

気仙沼市様は、東日本大震災の復旧事業の中で、インフラ整備や行政のシステムを構築するため2015年「情報システム最適化

計画」を作成し、その指針に基づいて取組みを行ってまいりました。当時、気仙沼市様は部署ごとに通信回線を契約していましたが、基幹系も内部系も部署ごとにシステムを構築し、サーバを設置している状態でした。

IT基盤を刷新し、セキュリティ対策を強化した効率的なシステムを構築

「サーバを一つにまとめてシステム基盤の統合を行い、コスト削減とセキュリティ強化、災害時の事業継続(BCP)を図ることが目的でした。そのため、震災後、煩雑になっていた業務自体の見直しを行うことから始めたのです」と、震災復興・企画部情報政策課のご担当者様。

「サーバを一つにまとめてシステム基盤の統合を行い、コスト削減とセキュリティ強化、災害時の事業継続(BCP)を図ることが目的でした。そのため、震災後、煩雑になっていた業務自体の見直しを行うことから始めたのです」と、震災復興・企画部情報政策課のご担当者様。

BCPとセキュリティ対策を強化した情報システム基盤を構築



提案のPOINT

多拠点間を高セキュリティ・高品質・広帯域なネットワークで接続

ランニングコストの削減につながるシステムを構築

情報漏えいの心配がないクローズドネットワーク

* 組織概要

「市民と共に、未来を創る行財政経営」を目指して

気仙沼市は「市民と共に、未来を創る行財政経営」を基本理念とし、市民の視点・未来の視点・経営の視点に基づいた行財政改革を推進するための行動指針となる「行財政改革大綱2019」を策定しました。その中にある3つの重点目標「市民目線に立った質の高い行政経営の実現」「多様な主体が活躍する仕組みづくり」「持続可能な財政基盤の構築」に対し、スピード感を持って目標を達成するための方策を示した「行財政改革アクションプラン」も策定し、システムづくりやインフラ整備を含め、市民の利便性向上や行政事務の効率化の取組みを行っています。

気仙沼市 震災復興・企画部 情報政策課

宮城県気仙沼市三日町1-1-11
TEL.0226-22-6600



(後列左から) 課長補佐兼情報政策係長 鈴木登志夫様、情報政策係主査 小山玄介様、情報政策係主事 菅原知祥様 (前列左から) 情報システム係主幹兼係長 木村裕志様、課長 小野寺晃様、情報システム係主査 高橋太様

気仙沼市様

新サービス



総合音声通信サービス TOHK talk

TOHKtalkは、お客さまの電話環境をワンストップ提供するサービスブランドです。

TOHKtalk officeは
外線電話機能のIP電話サービス。

TOHKtalk cloudは
スマートフォンを活用した内線電話サービス。

TOHKtalk mobileは
マルチキャリアのSIMサービス。

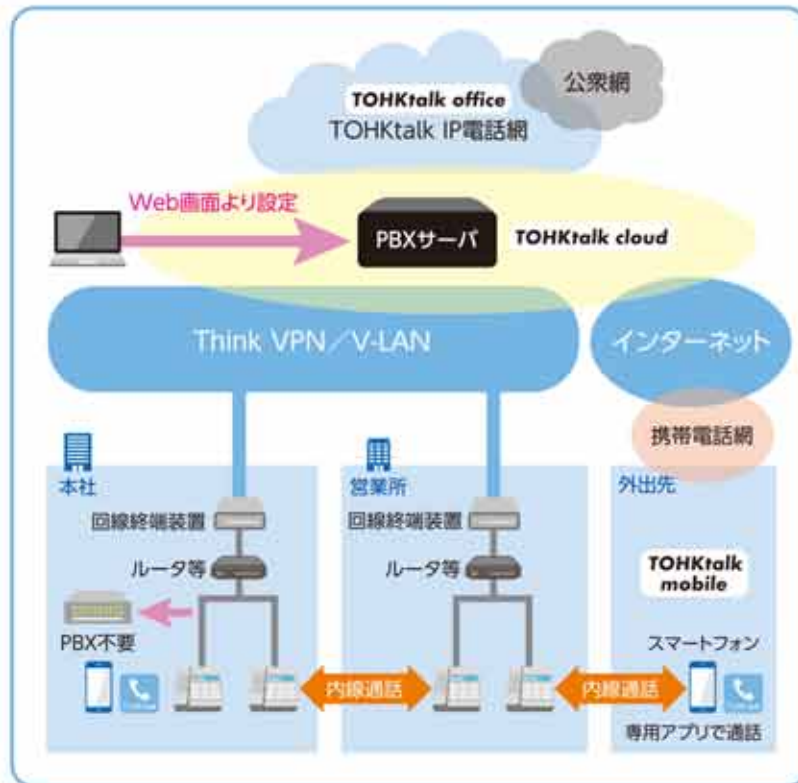
これら3つのサービスを組み合わせ、お客さまに最適な音声サービスをご提案いたします。

サービスの特徴

オフィス内外問わず
スマートフォンでの内線通話が可能

PBXの保守・維持費用の削減

電話に係る事務手続きの一本化



読者プレゼント

「JoinT」をお読みいただきましてありがとうございました。

vol.30は仙台フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター・西本幸弘氏、福島県の高橋工房様などを特集しました。

今後も皆さまのご意見を参考に、よりよい誌面づくりを行ってまいりますので、ぜひアンケートにご協力ください。

アンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で下記の賞品をプレゼントいたします。



応募方法

下記URLより「JoinT読者プレゼント」にアクセスして、アンケートにお答えの上、ご応募ください。

<https://www.tohynet.co.jp/joint/>



締め切り/2020年5月31日(日)

当選発表/厳正な抽選の上、賞品の発送をもって発表に代えさせていただきます。
※プレゼント賞品は内容が変更となる場合がございます。予めご了承ください。※応募に際していただきました個人情報につきましては、本誌プレゼントの運営および「JoinT」の編集に役立てる目的にのみ使用いたします。

編集後記

東日本大震災から9年経過し、取材で訪れた三陸沿岸部の復興も進んで、徐々に活気を取り戻しているように感じました。被災の状況を思い出すこの時期になると、何事もなく平穏に一日が過ぎたことに感謝し、小さな幸せを大切にしたい気持ちを再認識します。

台風19号からの復旧・復興を推進中! ゴールデンウィークは丸森町で春の歳時記を楽しもう

地域の旬情報
JoinT's TOPICS
地域のニュース&トピックスなどの
情報をお届けします。

蔵の郷土館 齋理屋敷

「端午の節句」は4月中旬開催
●開催時間 9:30~17:00
●定休日/月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)
店蔵(売店)2階 大正ロマン喫茶は月・木曜日休み
●料金/大人620円、子ども310円(いずれも税込)
●TEL/0224-72-6636

駒場瀧不動尊愛敬院

「春まつり」は4月29日(水・祝)開催
●開催時間/護摩祈祷 9:30~
春まつり 10:30頃~13:00頃
(神楽の開始は10:50頃)
※時間は前後することがございます。
●住所/宮城県伊具郡丸森町石倉字不動59
●TEL/0224-72-6003

宮城県の南部、福島県に隣接する丸森町は、阿武隈川の舟運で栄え、自然が豊かなことで知られています。町を代表する名所の一つが、中心部にある齋理屋敷。もともとは、江戸時代後期から昭和初期にかけて、7代続いた豪商・齋藤理助氏の屋敷です。後に、土地・家屋や取藏品などが町に寄贈され、「蔵の郷土館」として開放されました。定期的に企画展を開催しており、毎年4月中旬から「端午の節句」として、鎧兜などが展示されます。5月5日のこの日は、小中学生が入館無料となり、丸森ばやし保存会による和太鼓の演奏などが行われます。また、不動尊地区にある駒場瀧不動尊愛敬院では、毎年4月29日に「春まつり」を開催しています。本堂で参集者とともに護摩祈祷が行われるほか、古くから伝わる上滝十二神楽の舞を見ることが出来ます。5月上旬には境内のヒメシヤガが咲き始め、たくさんのお見物客で賑わいます。

地域の歴史と文化にふれ心豊かに



■お問合せ
丸森町観光案内所(一般財団法人丸森町観光物産振興公社)
〒980-2161 宮城県伊具郡丸森町町東83-1
TEL.0224-72-6663 <http://marumori.jp/>

奥服・太物の販売に始まり、味噌・醤油の醸造・縫製業など幅広い事業を展開した齋藤理助氏。現在は、7つの蔵と2つの部室に、当時の衣類や美術品などが展示されています。
愛敬院に伝わる上滝十二神楽(上)、ヒメシヤガは準地蔵堂様指定されており、淡い紫色が美しい可憐な花(下)。

当社の新TVCMが2月3日から放映中!

TOHKnet TVCM紹介

今回のTVCMは、現在のビジネスシーンにおいてデジタル技術活用による業務変革が求められる中、「トークネットが、さまざまなICTサービスの提供を通じたトータルサポートにより、そのお手伝いをさせていただきたい」という思いを、耳に残る音楽と特徴的なダンスにより表現しました。

TVCMは、東北6県および新潟県で2月3日から放映しています。

詳しくはコチラ▼
<https://www.tohynet.co.jp/movie/>



マンガでわかるIT事情

～維持・運用篇～

クラウドサービスは、目に見えない電気料金や設置スペースなどのコストを削減します。



「ブラックジャックによろしく」佐藤秀峰

TOHKnetのクラウドサービスをご活用ください。
当社の専門技術者が全面的にサポートします。

トータルコストに強い独自のプライベートクラウド

災害発生時の安心

高セキュリティ

運用コスト低減



マンガ「トークネットによろしく」WEBで公開中!!

詳しくはこちらから!! [トークネットによろしく](https://www.tohknet.co.jp/special/tohk_jack/) https://www.tohknet.co.jp/special/tohk_jack/



トークネット
TOHKnet
つなげる力を、明日のために。

より、そう、ちから。
東北電力グループ
東北インテリジェント通信株式会社

【お問合せ】 TEL:022-799-4211 (受付時間/平日 9:00~17:00) e-mail: joint@tohknet.co.jp